

# アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

## 日本語日本文学科

日本語日本文学科の教育理念は、自ら考え、行動する人材を育成すること。つまり「自主独行」の精神を実践することにあります。学生に、それぞれのライフデザインを自分自身の力で描く意欲とそれを実現する行動力を求めます。具体的には学習成果である豊かな感受性・深い理解力・的確な判断力を礎に、考えや意見を伝える力を身に付けることと考えます。この能力は社会に出ても役立つものです。

このような観点から日本語日本文学科では次のような受験生を求めています。

- ①日本の文化や言葉を深く理解し、実践しようとする意欲を持っている人。
- ②自分の考えや意見ばかりでなく、先達や同輩の考えや意見を尊重する態度を持った人。
- ③言葉が単なる道具でなく、生き方そのものであると考える人。
- ④人生全体に学び続ける気持ちが基本にある人。

## 英語英文科

「英語でライフデザイン」。これが英語英文科の教育理念を凝縮したフレーズです。これは、コミュニケーション手段としての英語の運用能力を高めるとともに、社会の一員として生き抜いていけるだけの考察力や行動力、すなわち「ライフデザイン力」も身に付けよう、というものです。英語で言えば、**Communicate, Think and Plan Your Future with English** となります。

この理念の実現に向け、まず「英語を話せるようになること」を目指します。もちろん、そのために必要な「異文化への理解」を深め、「幅広く柔軟な思考力」を養うことも忘れません。このような観点から、英語英文科では次のような受験生を求めています。

- ①英語を話せるようになりたいと考えている人。
- ②広く異文化について学びたいと考えている人。
- ③自己を見つめ直し、希望を持って自らのライフデザインに取り組もうとする人。
- ④現代社会が抱える諸問題に関心を寄せ総合的に思考、検討しようとする人。
- ⑤学友との学び合いを通して、柔軟性、協調性、社会性を高めたいと考えている人。

## 保育科

保育科は、2年間のカリキュラムの中で「幼稚園教諭二種免許」と「保育士資格（国家資格）」の両方を同時に取得でき、保育者としての基礎を培うことができます。これからの保育者には、子どもを観る目、保護者とともに子どもを育てる能力、他の保育者とともに保育活動を展開させていく協調性や基本を押さえつつ社会を見据えた保育観などを持つことが必要になります。保育科ではこのような保育者を育てるため学生に次のような意識を持って学んでほしいと考えています。保育に情熱を抱き、子ども観、保育観を持つこと、柔軟性があり、感受性が豊かであること、知識と知恵の両方を持つこと。そして、卒業後は県内外の幼稚園、保育所、児童福祉施設等において活躍してくれることを願っています。

このような観点から、保育科では次のような受験生を求めています。

- ①保育者となる意欲、熱意を強く持っている人。
- ②専門的知識、技能を習得するための基礎的学力を持ち、常に学ぶ姿勢を持っている人。
- ③さまざまな人と関わり、コミュニケーションをとりたいと考えている人。

他人から言われてやるのではなく、自分で考えて行動できる人。

## 音楽科

音楽科では、一対一の実技指導を通して、より高い演奏技術を身に付け、豊かな表現力を獲得するとともに、幅広い演奏解釈の一助とするために音楽の専門的な知識を学びます。また、専門教育だけでなく、教養教育や総合的な人間教育にも力を注ぎ、知的感性を養います。更に自分のライフデザインを基に、今何をすべきか、自ら考え実行に移すことのできる人間の育成を目指します。

このような観点から、音楽科では次のような受験生を求めています。

- ①品性と優しさのある心情豊かな人。
- ②積極的な学習意欲と探究心旺盛な人。
- ③目標及び目的意識がしっかりとし、現在の自分と将来への展望を持った人。
- ④自立した人間としての意識と責任感ある人。